

わたなべひよか
渡辺鶴禾短歌集

マダムの掟

八尾八尾木服や小物に気付きたる変わらぬ人を侮りし村
芸術家意識の高い八尾木村居住も長く古里になる
年毎に成果出したるその理由は村人達の鞭なる目
決められし時間より早く来る八尾木の村の八尾時間あり
十月に農作物を人に模し展示したるは江戸時代から
葬儀には黒真珠との決まりかな

八尾木の主婦のマダムの掟

キッチンの窓から朝陽さしてくる

今日はどんな日希望の湧く日

海人の短歌初めて読み知った絶望の涯短歌創れると
精神の病患う次女と我「病は武器」と娘は言い放つ
創作の武器となるなら泣く事も

悲哀にくれることもないのだ

暴言も不満の言葉聞かず済む一人暮らしの何と快適
カーテンの色もパープル室内に手芸作品置いて楽しむ
朝七時起きて朝ドラ見るために規則正しい生活送る

